

公益財団法人横浜市緑の協会 設立 40 周年記念シンポジウムを開催します

～これからの横浜の緑の展開、世界への発信～

公益財団法人横浜市緑の協会は、令和 6 年 10 月 1 日（火）に設立 40 周年を迎えました。これを記念して、緑の街づくりに取り組む市民団体をはじめ、協力企業・団体をお招きし、「これからの横浜の緑の展開、世界への発信」をテーマにしたシンポジウムを令和 6 年 11 月 2 日（土）に情文ホール（横浜市中区）にて開催します。また、今回のシンポジウムの内容は、本年 12 月に動画配信の予定です。取材のお申し込みは、前日の 17 時までにお問合せ先までご連絡ください。

■「設立 40 周年記念シンポジウム」詳細

日時：令和 6 年 11 月 2 日（土）13：00～16：15

会場：横浜情報文化センター 情文ホール（横浜市中区日本大通 11）

1. 基調講演 東京都市大学特別教授 涌井史郎 氏
2. 話題提供 (1) (公財)横浜市緑の協会の取組について
(2) GREEN×EXPO 2027 について
3. パネルディスカッション

・招待者：市民団体、協力企業、協力団体

・URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kyokai/40th.php>

・動画配信：令和 6 年 12 月配信予定

※決まり次第、ホームページにて告知します

※問合せ：公益財団法人 横浜市緑の協会 Tel 045-228-9420 (9：00～17：00)

【基調講演】

2027 年に開催される国際園芸博覧会を推進する専門家体制「GREEN×EXPO ラボ」のチェアパーソンをつとめる涌井史郎氏に「横浜市の緑」の未来について、ご講演をいただきます。

《登壇者プロフィール》

涌井 史郎 氏

東京都市大学特別教授・GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン

国際博覧会「愛・地球博」会場演出総合プロデューサーをはじめ、ハウステンボス、首都高大橋ジャンクションなど多くのランドスケープ計画に携わり、国連生物多様性の 10 年委員会・委員長代理、新国立競技場事業者選定委員会・委員他、国や地方公共団体、各種委員会組織にも多数関わる。



【パネルディスカッション】

涌井氏がモデレーターをつとめ、各分野からのパネリストが「これからの横浜の緑の展開、世界への発信」について、意見を交わすパネルディスカッションを実施します。

《登壇者プロフィール》



五十嵐康之 氏

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局担当理事
国土交通省等で勤務の他、国際園芸・造園博覧会ジャパンフローラ2000、2005年日本国際博覧会等において、大型コンテンツのプロモート・企画運営に携わる。



佐藤留美 氏

特定非営利活動法人
NPO birth 事務局長
公園緑地を拠点としたまちづくりを推進する「みどりの中間支援組織」の設立者。都市のグリーンインフラ機能を高めるさまざまな取り組みに精通している。



一ノ瀬さきみ代 氏

よこはま緑の推進団体
桜台花グループ代表
1993年より有志団体を結成し、港南区の地区センターや公園等の花壇作りに取り組む。2020年、2024年には、よこはま緑の推進団体の優秀活動賞を受賞。



橋本 健

公益財団法人横浜市緑の協会 理事長
1982年に横浜市役所緑政局入庁。公園緑地部長、みどりアップ推進担当理事等を歴任し、2023年より現職。2024年6月、第46回北村賞を受賞。

公益財団法人横浜市緑の協会について

公益財団法人横浜市緑の協会は、1976年（昭和51年）7月、任意団体「横浜市公園協会」としてスタートしました。その後、1984年（昭和59年）に「よこはま緑の街づくり基金」の設置に伴い「財団法人横浜市緑の協会」となり、本年で40周年を迎えました。2012年（平成24年）4月には神奈川県からの公益認定を受け「公益財団法人横浜市緑の協会」に移行し、現在に至ります。市民の皆様からの寄付によって積み立てられる「よこはま緑の街づくり基金」の運用益等を活用して緑化推進事業を展開するほか、公共の福祉の増進に寄与することを目的として公園事業、動物園事業等を行っています。



横浜市SDGs認証制度



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

緑化推進課長 檜山 敏浩 Tel 045-228-9497